大学等における修学の支援に関する法律による

Ａ様式1

授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

　　２０２５年　　月　　日

長岡技術科学大学長　殿

　私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆　この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

◆　授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、長岡技術科学大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が長岡技術科学大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

◆　現在、他の学校において、「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下の太枠内を本人が記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | フリガナ |  | | | 入学年月 | 年　　月入学  **※本学に入学した月日** |
| 氏　名 |  | | |
| 生年月日 | （西暦）　　　　年　　　　月　　　　日生　（　　　　歳） | | | | |
| 現住所 | 〒　　　　　－  　　　　　　都道　　　　　　　市区  府県　　　　　　　町村 | | | | |
| 本人  連絡先 | TEL: mail: | | | | |
| 所属学部  ・学科等 | 工学部　　　　　　　　　　　工学課程  　　　　　　　　　　　　　　分野 | | | 学籍番号 |  |
| 学　年 |  | 昼間・夜間・通信の別 | ☑昼（昼夜開講を含む）　□夜　　□通信 | | |
| 希望する認定事由 | ☑ 授業料等負担が困難  ☑ 多子世帯 | | | | |

※日本学生支援機構の給付型奨学金を併せて受けていただくことが基本です。この申請書を提出した場

　合、9/1以降、日本学生支援機構の給付奨学金を必ず申請してください。

※申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

申請書の作成あたっての注意事項

イ　大学等における修学の支援に関する法律による修学支援は、入学料・授業料等減免と給付奨学金により行うこととしております。このため、入学料・授業料減免申請書を提出した場合、日本学生支援機構の給付奨学金の申し込みを行ってください。給付奨学金の申し込みがない場合、入学料・授業料の減免の認定が遅れる等の原因になります。

なお、給付奨学金と入学料・授業料の減免の認定要件は同一であるため、給付奨学金に申し込んだ結果、認定を受けることができなかった（給付奨学生として採用されなかった）場合は、入学料・授業料の減免についても支援を受けることはできません。

ロ　予約採用における採用候補者は、採用候補者決定通知のコピーを必ず添付してください。

ハ　過去に、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の支援を受けたことがある場合には、当該期間の月数を申告してください。

二　入学年月について、編入学又は転学等により入学した場合は、その年月を記入してください。専攻科に在学している場合は、専攻科に入学した年月を記入してください。

ホ　申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。